

例会日：火曜日 12：30～13：30

例会場：三条ロイヤルホテルTel34-8111

事務局：三条市本町3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488

HP：http://www.sanjo-nrc.org

本日の行事：卓話「三条市のまちづくり」

- ◆本日の出席：58名中30名
- ◆先々週の出席率：58名中44名 75.86%
(前年同期 80.00%)

- ◆本日のゲスト：三条市長 國定 勇人 様
- ◆本日のビジター：荻根澤隆雄 様(三条 RC)
- ◆本日のオブザーバー：宮川雄一郎 様
山谷武範 様、加藤環 様

- ◆先週のメイクアップ(敬称略)
- 18日 燕 RC 石川勝行、加藤 實
田中耕太郎
- 18日 加茂 RC 岡田 健
- 19日 吉田 RC 落合益夫

* 本日の配布書類等

- ・週報No.1542. 1543. 1544
- ・ガバナー月信4月号(閲覧)
- ・家庭会合日程
- ・会員名簿確認のお願い
- ・地区研修・協議会の当日のご案内
- ・骨髄バンク命のアサガオにいがたチラシ

だ収まる気配なし。一方日本ではバブル経済が崩壊、不況が続く中、平成7年(1995年)1月17日に阪神淡路大震災が発生、その後内需縮小とデフレが問題となっています。また、グローバル資本が世界を席卷する中、平成20年(2008年)リーマン・ショックが起きて世界経済に大打撃を与え、日本もその影響を受け、デフレから未だに抜け出せていない。そして、平成23年(2011年)3月11日には、観測史上最大規模のマグニチュード9とされる東北地方太平洋沖地震が発生。官民挙げて復興に努めているが、東京電力福島第一原子力発電所事故の後遺症が大きく、完全な復興への道のりはまだ遠い。元号が5月1日令和に変わり、日本国民が希望に満ち、自然災害も少なく経済も順調な新たな時代の到来を待ち望んでいます。

幹事報告：松山 浩仁 幹事



- ・新潟いのちの電話より 広報誌「聴く」No. 140が届いています。
- ・三条市共同募金委員会より「運営委員のお願い」について
- ・骨髄バンク命のアサガオにいがた
「あなたの勇気を待っている人がいる」イベントチラシ送付について
日時：5月26日 13時～ 会場：加茂文化会館 大ホール

会長挨拶：高橋 研一 会長



皆さん、こんにちは。本日4月23日(火)当年39回目の例会は、特別な例会となりました。新元号が決まり、あと8日で平成から令和に変わりますが、来週30日は休会日のため、今日が平成最後の例会になります。國定市長におかれましては

公務のお忙しい中での講演依頼をご快諾いただき、本日お越しいただきました事、当クラブを代表して感謝申し上げます。そして、本日は新会員候補の3名の方々にご出席いただいております。宮川雄一郎様、加藤環様、山谷武範様です。例会の気軽な雰囲気を楽しんで下さい。来月7日には宮川雄一郎様と中山正義様のお二人の入会式の予定となっております、楽しみにしております。

さて、平成の元号は、昭和64年(1989年)1月7日に、皆さんご存知の通り、小渕恵三官房長官が「平成」を墨書した台紙を示す姿は、新時代の象徴とされ、翌8日にスタートしました。しかし、平成元年(1989年)ベルリンの壁が崩壊、平成2年(1990年)8月に湾岸戦争が勃発、そしてバブル崩壊。平成13年(2001年)9月11日イスラム過激派による「アメリカ同時多発テロ事件」、「イラク戦争」が起こり、その影響でイスラム国によるテロが頻発。中東の混乱は今ま

- ・下田ライオンズクラブより「第39回 8クラブ有志ゴルフ大会のご案内」
日次：6月22日(土) 会場：下田城カントリー倶楽部 懇親会：餞心亭 おゝ乃
- ・地区事務所より「第2750地区の『ロータリーデー2750 フェスタ2019』のご案内」
日時：5月12日(日) 10時～ 場所：アーク・カラヤン広場 東京都港区赤坂1-12-32

羽賀 一真 幹事エレクト



- ・「家庭会合の日程」配布について
5月16日(木)17日(金)20日(月)の3日間開催いたします。各委員会別に予定しておりますが、ご都合の合わない場合は都合のつく日をご記入いただき、5/14(火)までに、事務局へご提出下さい。
- ・「会員名簿確認のお願い」
会員名簿の記載に誤りや変更の有無などをご確認いただき、5/7(火)までに、事務局へご提出下さい。
- ・「地区研修・協議会のご案内」
5月11日(土) 集合時間：8：00 集合場所：三条市役所前
参加13名の方にご案内を配布いたしました。

ロータリー財団ボックス：23日現在累計207,000円

- | | |
|--------|---|
| 早川 瀧雄君 | 三条クラブの荻根澤様、メーキャップありがとうございます。
國定市長の卓話楽しみにしておりました。 |
| 佐藤 弘志君 | ボックスに協力。 |
| 武田 恒夫君 | 〃 |
| 渡辺 徹君 | 國定市長、本日はよろしくお願ひ致します。 |



米山奨学ボックス：23日現在累計1,321,000円

- | | |
|--------|--|
| 羽賀 一真君 | 國定市長のギターと奥様のチェロの合同演奏はとても素敵です。
本日は卓話にお越しくださいますで大変ありがとうございます。 |
| 福岡 信行君 | 國定市長の卓話を楽しみにしております。オブザーバーの皆様の入会を楽しみにしています。 |
| 石丸 進君 | 國定市長、本日はお忙しい中ようこそおいで下さいまして、感謝申し上げます。 |
| 米山 忠俊君 | 國定市長さんの御来会を歓迎して。 |
| 森 宏君 | 町工場の多い東京都大田区出身です。 |
| 渋谷 義徳君 | 米山奨学 BOX に協力します。 |
| 高橋 彰雄君 | 〃 |
| 佐藤 弘志君 | 〃 |



スマイルボックス：23日現在累計813,000円

- | | |
|-----------------|---|
| 荻根澤 隆雄さん(三条 RC) | いつもお世話様になっております。ほぼ一年振りの訪問です。
昨年の地区協議会含め、色々ご協力を頂きました事に感謝申し上げます。
ありがとうございました。 |
| 金子太一郎君 | 今日は、國定市長 卓話よろしくお願ひします。 |
| 石黒 隆夫君 | 國定市長、本日は誠にありがとうございます。
山谷さん、宮川さん、加藤さん、入るなら北クラブです。 |
| 石川 友意君 | 國定市長を歓迎して!! 荻根澤さんを歓迎して!! |
| 星野 義男君 | 國定勇人市長の氏名を書くにも選挙の時以来です。頭も白いものが多くなりましたね。
苦勞も多い事でしょうね。 |
| 佐藤 文夫君 | 市長、御忙しい中、有難う御座います。 |



外山 裕一君 國定市長、本日は宜しくお願ひします。
 佐藤 弘志君 國定市長、卓話有難う御座います。
 今井 克義君 市長の卓話、ありがとうございます。拝聴いたします。
 小林 繁男君 市長さん、卓話楽しみにしています。子供がいつもお世話になっています。
 森 宏君 佐渡トキマラソンで、またフル走って来ました。
 佐藤 義英君 平成最後の例会に協力します!!
 高橋 彰雄君 協力致します。

本日の行事：卓話

講師紹介：花井知之 プログラム委員長

本日は三条市國定市長をお迎えいたしまして、卓話を賜ります。皆さんご存知かとは思いますが、改めて市長のプロフィールをご紹介申し上げます。

1972年東京都生まれ46歳、高校時代はラグビー部に所属、一橋大学から郵政省に入省、その後総務省時代2003年から2年間三条市に出向されています。2006年34歳の時に全国最年少市長として三条市の市長に当選し、以来昨年無投票で再選を果たされ4期連続市長をお務めです。



本日の卓話は「三条市のまちづくり」をテーマにお話しいただきます。よろしくお願ひします。

「三条市のまちづくり」

三条市長 國定 勇人 様



今日の資料は高校生のために作ったものです。

自分自身の人生を振り返ってみてもそうなのですが、小学校・中学校・高校とあまり自分たちのまちについて深く情報収集する機会がないまま大人になったと思っています。

令和3年度に、この燕三条地域としては初めてとなる公立の4年制大学「三条技能創造大学(仮称)」が開校しますし、来年度の令和2年4月には同じ建物の隣に医療系高等教育機関も開学されますので、選択肢としては高校を卒業した後、さらに進学したいというときには初めてこの地域に選択肢が与えられるわけですが、今のところ高校を卒業して新たな進学の道、例えば大学であったり短大であったり専門学校であったり、こうしたところに行こうとすると、市外に行かざるを得なくなるわけです。大学なり短大なり専門学校なりに進学をし、そのままその地で就職し、順風満帆な人生であればともかく、人生を振り返り、立ち止まり、自分の先の人生を思い悩むときが来たときに「やっぱり三条に戻ろう」と思うためには、少なくとも高校を卒業するまでの間に自分の生まれ育ったまちがどんなまちなのかということを知らずして、選択肢の中に「三条」というものは出てくるわけはありません。そういうこともあって、平成30年度から三条高校、三条東高校、三条商業高校、県央工業高校の4校を対象にこの資料を持って巡回させていただき、少なくとも市内の高校で学んでいる子供たちに、「三条というまちで普通に生きているかもしれないけれども、思った以上に

いいまちなんだよ、誇るべきものがあるんだよ」ということを紹介する意味で作った資料です。ちなみに、連日報道で取り上げていただいた、粟ヶ岳の世界大会が先週末開催されました。ヨーロッパ発祥のスポーツということもありますが、世界13か国から50人を上回る一流の選手が下田郷に集結しました。初日はバーティカルキロメートルといって、いい湯らていから粟ヶ岳のほぼ山頂付近まで一気に駆け登る競技の世界大会が開催されました。粟ヶ岳に登られた方は御存知だと思いますが、少なくとも私の足のペースでは3時間ちょっとかかります。今は6合目付近から上で雪が残っているのでさらに困難を極めるわけですが、トップの選手は42分で駆け登るわけです。そういった世界一流の選手たちがこの地に初めて訪れていただいて熱戦を繰り広げていただけたということは大変ありがたいと思っております。

一昨年長い歴史に幕を閉じた三条小学校の跡地に、図書館、理科教育センター、鍛冶ミュージアムといった複合施設を令和4年度供用開始予定で準備を進めていますが、なんとこの新しいこの施設の設計者が隈研吾さんに決まりました。私たちが誘致したわけではなく普通にウェブ上で周知しただけなのですが、隈さんにも手を挙げていただきました。このような地方の10万都市の公共施設によく目を向けていただいたなと思っておりますが、さらに驚いたのは、隈研吾さん自らお越しになって、自らプレゼンをされて、無事に隈さんに決まったということであります。御案内のとおり、来年の東京オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムになります新

国立競技場も隈研吾さんの設計だということですから、そういう意味でも、三条は何となく上げ潮基調にきているのかなということを感じながら今に至っております。

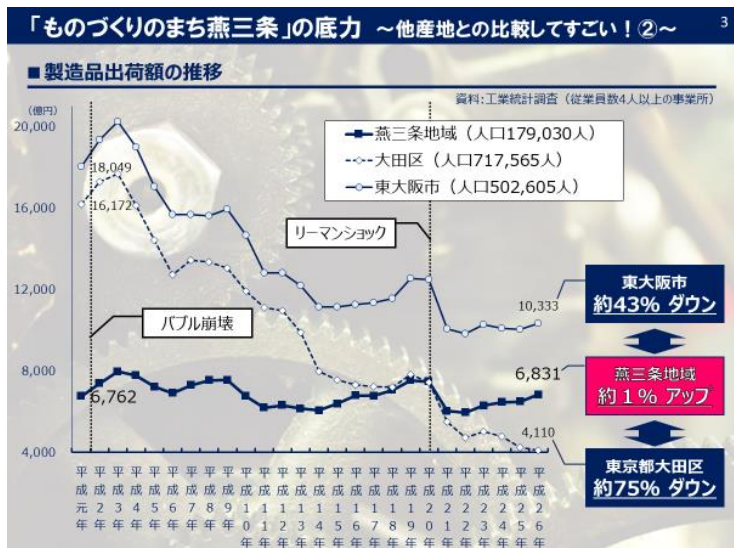
資料の最初に申し上げているのは、皆様方も御案内のとおり、燕三条というのは金属加工の産業集積地であるということです。日本には大きく分けると東京都の大田区、大阪府の東大阪、私たち燕三条地域の3つしか金属加工を中心とした産業集積地はありません、ということをお願いしています。私たちの今のパフォーマンスはどうなっているのかというと、この四半世紀、バブルが崩壊してから今に至るまでの間、ものづくり大国としての日本の地位はどんどん失われていきました。これはバブルが崩壊したからではなくて、バブルの崩壊と時期を一にして、鄧小平が社会主義市場経済という政策に中国の市場を大きく舵を切ったその瞬間から、閉ざされた雇用市場があれだけのボリュームで世界に対して広がったので、ものづくりとしての拠点の優位性がどんどん失われていった、というのが平成を読み解く上での一番大きなトレンドなのだと思います。

そんな中で、先ほど3つの産地と申し上げましたが、現実的には東大阪や東京の大田区は、当時、私たちなどはライバル視しないくらいに、製造品出荷額一つとってみても私たちは2分の1ないし3分の1程度の実力しかなかったわけでありまして。東京の大田区とか東大阪はどういう道をたどっていったのかというと、だいたい縦系列に組み込まれている産業構造を持っている都市ですので、この間、ものづくりの拠点は日本から中国、中国から東南アジア、東南アジアから南アジアにどんどんシフトしていくときに、大田区はその直上流にいる元請企業と運命を一蓮托生にしていかなければいけない産業構造に陥っていたわけなんです。大田そのものが結果

としては衰退をしたわけですが、大田に住んでいる人たちが衰退したわけではなく、中国に移転したり東南アジアに移転したりして、彼ら自身は経済的にはさほど変わらない生活をしているわけですが、製造品出荷額という意味では拠点性がどんどん海外の方に流出してしまいました。

その一方で、私たち燕三条地域は皆様方の獅子奮迅の働きによって、ものづくりの拠点性が我が国全体として大きく奪われてしまっているこの四半世紀の間、何とか歯を食いしばって踏みとどまっているという現状認識であります。その結果、相対的にはついにあの大田区よりも製造品出荷額は私たちの地域の方が上回っているというのが現状です。今は長いトレンドで見ると、東大阪がさらに落ちてくるのを私たちが待ち続けているというのが今の状況であります。これは皆様もお仕事をされているときにも少しずつ感じとられていると思います。今まで取引をしていなかったような相手からある日突然電話がかかってきて、「実は今まで取引していた会社が廃業するんだ、海外移転するんだ。でも、自分たちとしては困るから協力関係を築いてくれないだろうか」という話はきっと来ていると思います。それは、例えば東京の大田がこれだけの実力を失うということは、この背景にはそれまで取引をしていた有象無象の企業がいらっしゃるわけでありまして、彼らは彼らで困るわけなので、また燕三条地域に仕事をもたらしてくるのが、現実には起こっていると感じているところであります。

次に子供たちに言っているのが、上場企業に目を転じてみましょうということです。現時点で三条市にある上場企業は、スノーピークさん、アークランドサカモトさん、コロナさん、オーシャンシステムさんの4社です。御案内のとおり、三条が発祥であるという点で考えますと、加えてコメリさん、ツインバードさん、ダイニチさんもあります。とりあえず公平性を期すために、現に存在している4社がどれだけの実力を持っているのかを図ろうとするのがこの資料の試みです。この4社という上場企業数は、島根県全県、徳島県全県、佐賀県全県、長崎県全県の上場企業の総数よりも三条市の4社の方が多いのです。長崎と佐賀は県全体で上場企業数は1社しかないので、人口10万なわけですがそれよりもはるかに人口ボリュームの大きいこれらの県よりも多いということは、もっと肯定的に捉えてもいいのではないかと子供たちに言っています。ただ、これだけだと公平性を期す比較対象になりませんので、試みと



して、47都道府県と三条市を比較して人口一人当たりの上場企業数だと上場企業密度が公平に図られますのでそれで算出してみると、東京都と大阪府に次いで三条市は3番目に入り込むのです。これくらいの濃い企業密度の中で、東京・大阪に次ぐ実力を持って経済活動が展開されているまさに、私たちは何気なく住んでいるかもしれませんが、そんなすごいまちに住んでいるのですよと、伝えているわけです。三条市に次いで4番目に位置するのが、あの世界のトヨタを擁する愛知県です。その次に来るのが京都府で、皆様方も御案内のとおり任天堂であったり、島津製作所であったり、京セラであったりといったいわゆる「京都企業」が名を連ねていますが、愛知県や京都府よりも三条の方が密度の濃い経済活動を送れているわけでありませぬ。

だんだんトリビアっぽくなっていきます。JR東日本が誇る超豪華列車である「TRAIN SUITE 四季島」ですが、費用は3泊4日で1,425,000円かかるそうです。それでも予約が一杯で半年くらい待たないと乗れないらしいです。ここで高校生たちに言っているのは、1,425,000円も出すということは、見返りとして最高品質のサービスと最高品質のしつらえを求められないと、その対価を受けないとお客様は全く満足しないし、JRの信用問題にかかわります。そうすると、この四季島をつくるに当たっては、JRの社員を挙げて最高品質を追い求め続けて、いろいろなものを世界各国から取り寄せるその結果として、四季島の中にはこういう照明や花瓶、器、カトラリー、テーブル照明などといったものが燕三条地域から採用されています。つまり、僕らが売り込んだわけではありませんから、彼らが世界品質を自主的・自発的に選りすぐった結果、私たちの地域から排出されている製品群がインテリアの中に採用されているのだということをお子たちに申し上げているところでございます。

ここもトリビアっぽくなりますが、ノーベル賞の晩餐会に燕市の山崎金属さんのカトラリーが採用されているということは御存知の方が多くいると思いますし、横浜で開催されたAPECにおいて我が国政府からの各国政府首脳に対する正式な贈答品として、燕市の磨き屋シンジケートが作ったビアカップが採用されたというのは皆様方も十分御案内のとおりだと思いますが、実は三条市のもう一つの産業である保内を中心とした植木産業も結構県外で活躍していますよ、というのが次の資料です。例えば、東京ディズニーシーの植栽は、保内の造園業者さんが指導

し、今もなお管理し続けています。あるいは、昨年戊申150年が終わったばかりの五稜郭の中にある庭園は、これもまた保内の業者さんが全部管理をされているわけです。この間、井栗地区でこの話をした際に、もっとすごいんだとお叱りを受けまして、この五稜郭の石垣の設計をしたのが、実は三条の井栗の方なのだと教えていただきました。今度高校生に向けた資料を作るときまでには直そうと思います。

ここから先は御案内のとおりかと思いますが、昨年「ジャパン・ハウス ロンドン」という、来年2020年にオリンピック・パラリンピックが東京で開催されるということで、世界の耳目が日本に今集中しているこのタイミングに合わせて、日本の文化や歴史や技術を情報発信していきましょうということで、外務省直営でロサンゼルス、サンパウロ、ロンドンの3つを拠点に常設的に日本の魅力をPRする施設として昨年から運営が開始されました。そのうちの1つを占めますジャパン・ハウスのロンドンにおいて、日本を紹介する最初の企画展に、京都でも奈良でもなく私たちの燕三条地域を選んでいただきました。ウィリアム王子には実際に私たちの製品を手に触れていただき、満喫いただきました。その後のレセプションでは、福顔酒造の日本酒で乾杯をしていただき、三条が世界に直結しているのだということをお子たちにも申し上げます。このジャパン・ハウスのロンドンの企画の全てをロンドン人チームにプロデュースしてもらっているのがジャパン・ハウスのロンドンの特徴です。そのロンドン人チームに私たちを選んでいただいたわけですね。私たちが売り込んだことも若干ながらも貢献しているとは思いますが、彼らに安心感を与えた材料が「燕三条工場の祭典」であります。毎年10月の最初の週に4日間、100近い燕三条地域の工場を一斉にオープンするイベントであります。工場の祭典が一昨年度、世界3大デザイン賞の「レッド・ドット・デザイン賞」を受賞しました。製品一つ一つをとれば燕三条地域内にも受賞している企業さんがいくつかあるわけですが、我々はイベントそのものに対してレッド・ドット・デザイン賞のコミュニケーションデザイン部門を受賞しました。こういうものを獲得し、今のヨーロッパのアンテナの高い人から注目を集める位置になっていた、そういう素地があったからこそ目を付けていただいたんだなと実感するわけです。

これも旧聞に属することになってしまいましたけれども、一昨年には下田の嵐溪荘さんで竜王戦が開催されました。羽生さんも実際に来られ

たわけですけれども、なぜ竜王戦が三条で実現することができたのかというと、三条で「竹風駒」というブランドの将棋の駒を作っている大竹さんの存在がものすごく大きかったわけです。大竹さんからいただいた歩のストラップに目を付けていただいた方が、日本将棋連盟の会長さんにつないでいただいてこの竜王戦につながったわけです。大竹さんが作られる竹風駒は例えば羽生さんも持っていますし、昨年活躍した藤井聡太さんも持っていますし、日本のトップ棋士の中で持っていない人はいないというふうに言われているくらいに、日本の中でも有名なブランド力を持つ方が三条に住まい、今も作られています。ちなみに、木を伐採してから駒になるまで最低7年かかるらしいのですが、一番安くて1セット100万円だそうです。対局用の駒になると1セット1,000万円するそうです。私は将棋を指さないので分かりませんが、何か違うんじゃないかなと思うわけです。

最後に子供たちにいつもお話しをしているのは、まちが目指すべき方向性についてです。この資料は、海外の都市名、その都市の人口、その都市に本社を置いている企業名が書かれています。例えば、スポーツ系で言うとアディダスやプーマの本社があるドイツの地方都市は人口が約2万3千人です。あるいは、フェラーリの本社が

あるイタリアの地方都市は人口1万7千人です。ランボルギーニの本社があるところはわずか7千人です。バカラは人口が5千人です。お酒関係で言うと、ドンペリが2万3千人、コニャックが1万9千人、シャブリは2千人、ロマネ・コンティに至っては400人の町村に本社を構えているわけです。彼らは世界中の人たちが知っているブランド力を保持している会社の数々ですけれども、彼らは決してロンドンやパリ、ベルリンなどに本社を構えようとせず、自らの発祥の地をすごく大切にしながら、その地方も大いに盛り上げていく構造をヨーロッパ全体として展開することによって、ヨーロッパという大陸が全体として底上げしていく構図を見事に作り上げているわけです。こんな数千人のまちでできるようなことが、人口10万人も擁している三条市にできないわけがないでしょう、と子供たちに言って、こうしたまちをみんなで一緒に築き上げていきたいと思いますというのでいつも話の結びとさせていただいております。

皆様方におかれましては、令和という新しい年になっても引き続き御活躍いただき、三条市のよき牽引役となつていただきますことを最後にお祈り申し上げまして卓話の結びとさせていただきます。御清聴いただき誠にありがとうございます。



当日の資料をご入用な方は事務局までお申し付け下さい。

5月のお祝

会 員		誕 生 日		夫 人		結 婚 記 念 日	
丸山 正男	1 3	淵岡 文	3	森 宏	由実	早川 瀧雄	町子 2
浅野潤一郎	2 2	斎藤 裕子	2 0	坂内 康男	智恵	西村 護	智恵子 1 5
羽賀 一真	2 6			西村 護	智恵子	吉田文彦	由美子 3 1
武田 恒夫	2 7			吉田文彦	由美子	本田芳久	真由美 3 1

